

支部だより

群馬県北毛支部

チャリティーゴルフコンペの開催及びゴルフコンペの収益金を児童養護施設等への寄付について

発足以来恒例となった「第十九回群馬県北毛支部チャリティーゴルフコンペ」を、去る七月十五日(月)海の日に、榛名山麓の「伊香保国際カンツリークラブ」で開催しました。このゴルフコンペは、会員相互の融和・親睦を図ることと、県民への善行活動の啓蒙のため並びに日頃、善行活動のために理解され、支援いただいている方々と会員との交流を図ることを目的に、広く参加者を募り開催しているものです。

当日は、趣旨に賛同された三十四名という多くの方に参加いただき、盛大に開催致しました。今更からハイコンペを取り入れ、表彰式は行いませんでしたが、競技を終了した参加者一人ひとりに支部長から賞品とお礼状を手渡し、感謝を伝えました。参加者から寄せられたチャリティー収益金の一部を児童養護施設「子持山学園」、被害者支援センター「上毛新聞」の「愛の募金」へ寄付を行い、財団法人上毛新聞厚生福祉事業団より感謝状を頂きました。



令和元年度総会並びに表彰伝達式の開催

令和元年度総会並びに表彰伝達式を六月十五日(土)午後一時から市内ホテルにおいて新会員五名を含む四十六名の出席のもと開催しました。式次第では集合写真の撮影の後、日本善行会の歌を出席者全員で歌い、筒井泰昭副支部長の開会挨拶、山川常務理事の司会で濱武支部長が挨拶、善行受賞者へのお祝いの言葉と関係者への協力の感謝の挨拶があり、続いて来賓の仲間雅広長崎県議会議員、宮島大典県議会議員から善行活動の歴史と継続のすばらしさに敬意を表し感謝と励ましの言葉をいただきました。続いて勝野堅介日本善行会会長からの祝電が披露されました。

長崎県佐世保支部

露され、表彰伝達式に移り、支部長のお祝いの言葉と共に受賞者十一名人ひとりに表彰状善行章が手渡され、永野博毅常務理事によって記念写真撮影していただき、表彰伝達式が終了受賞者を代表し、仲間雅広様が謝辞を述べられました。その後議事に移り、平成三十年度の事業報告、令和元年度の事業計画と予算案が提出され議事案が承認され、総会は無事に終了しました。次に祝賀懇親会に移りました。久野さとし(前)県議会議員の乾杯の音頭で祝宴に入り、日頃の善行活動等や和やかに意見交換がされ、秋の長寿交換者(平成三十年十月二十四日)として森長三様が御接見出席報告されました。舞台では正調相撲甚句や空手に続き、余興のカラオケ大会も出演者が多く一等の大型トロフィーを目指して盛り上がり、時のたつのが早く感じられ最後に小野原茂市議会議員の万歳三唱、閉会の言葉を宮原公平副支部長がしました。



善行表彰伝達式の開催によって、会員の皆さんに善行表彰の意義と使命感が改めてご理解いただけたものと感じました。

大阪府吹田支部

令和元年度総会の開催

令和元年度の定期総会と親睦会を六月二十四日(月)午後七時から、吹田市文化会館メイシアターレセプションホールで開催しました。吉川英次監事の司会で、永田昌範支部長のあいさつ、祝電が披露され、規約に従い永田支部長の議長で、林泰史事務局長から平成三十年度の活動報告、宮浦ミネ子会計から平成三十年度の会計報告、柴田佐智子監事の監査報告が行われ、すべて承認されました。続いて、令和元年度の事業計画と予算が提案され可決されました。本年度は支部創立十周年にあたり、引き続き記念事業実行委員会において、記念式典と記念誌発行の計画が進められおり、記念事業の特別会計に



ついて可決されました。二部の懇親会では顧問であり吹田市長の後藤圭二様より祝辞をたまわり、本田智生副支部長の乾杯の音頭で始まりました。会員の皆様は吹田市内の各地で様々な活動をされており、多くの地域で行事が重なったように、参加者二十五名と少し寂しい懇親会でしたが、終始和やかな雰囲気の中、活動の話に花が咲き、西川俊孝副支部長の締めめの言葉で幕を閉じました。

岩手県支部

令和元年度定期総会と表彰伝達式

令和元年度第三十一回「定期総会」を六月二十五日釜石市大町の釜石ベインシテイホテルで開催しました。総会は委任状を含む三十五人(会員数四十一人)が出席し芳賀事務局長の進行で開始した。岩間支部長挨拶の後、議長に菊地理事を選出して議事に入り、平成三十年度事業報告・収支決算報告、令和元年度事業計画・予算を審議し承認の上決議した。協議の中で事業費拡充の課題が示され、後日役員会で検討を要する事とした。任期満了に伴う役員改選については、岩間支部長ら現役員を再選した。岩間支部長は総会において、今後も日本善行会の理念に基づいて、

善行の「灯火の輪」を拡げて安全で安心な社会環境づくりのため、地域住民と手を携え絆を大切に活動に努めようとして善行活動に励まようとして表彰した。総会終了後、引き続き、令和元年度善行表彰伝達式を開催した。善行表彰伝達式は平成三十年度秋季善行表彰・令和元年度春季善行表彰・令和元年度春季・特別善行表彰受賞者一人ひとりに表彰状と善行章が、岩間支部長より功績を讃え伝達され、善行会支部長より受賞者の方々に称賛と激励を込めた祝辞と、日本善行会勝野会長の祝電のご披露がなされた。懇親会に移り受賞者の方々と親しく懇話する中で、善行表彰を励みにこれからも地域社会と向き合ってくださいと感謝の言葉があり、懇親会も和やかに楽しく語り合い、皆で「善行の輪を拡げる事を誓い」盛会裡に終了した。

大分県大分支部

令和元年度金章伝達式と支部総会開催

令和元年度の大分支部金章伝達式と同支部総会が六月六日(木)午後一時三十分から、大分市東部公民館会議室に会員三十五人(別に委任状十九人)が出席して行われた。金章伝達式では、松井猛支部長から帆玉澄子副支部長に、金章と賞状が



伝達され、帆玉副支部長から謝辞が述べられ、式を終了した。続く総会では、松井支部長を議長に選出し、議事が進められた。先ずスピーチ・ボランティアの尾島春夫さんを名誉会員に推薦する件が満場一致で承認された。続いて、平成三十年度活動報告と会計報告等が承認された。令和元年度の活動計画では、会員相互の連携と情報共有、芸能奉仕・慰問活動の活性化、事故防止活動の推進、環境美化、青少年指導、自然と文化財愛護、公共生活の貢献等々の受賞者への支援と協力等を含む活動計画と予算案を原案通り承認し総会を終了した。総会に引き続き、松井支部長作成の「スピーチ・ボランティア」尾島春夫さん紹介のビデオが上映され、尾島さんの数々の活動が紹介された。



訃報

去る六月四日、東京都小平市の佐野利平氏(元小平支部長及び元本部監事)が逝去(九十三歳)されました。佐野氏は平成六年から十年まで小平支部長、同七年から十四年まで本部監事として本会の発展に多大の貢献をされました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

善行川柳

選者 東 逸平
父の日や 礼を言うのは いつも妻
北海道 齊藤 勉
評/見事ですね。ユーモアがあつて良いですよ。実態もそうかも知れませんが。選者も同感!
試験にて 隣がそつと ペンを貸し
東京都 神鳥谷知己

評/ペンだけかな? 善行の心と川柳の心が混じり合つて良いですよ。
〇文化財 守る活動 村興す
大分県 佐藤 満洋
評/ひたむきに文化財を守る活動が村興しにつながる思いを良く伝えています。最近では文化財に落書きしたり、傷をつけたりする物が増えていますが、作者の爪の垢を飲ませてあげたいですね。

入会のおすすめ

- 一般社団法人日本善行会では、善行の表彰並びに善行精神の普及と実践を通じ明るく住みよい社会環境づくりに努めております。活動をご支援いただくために、広く会員を募集いたしております。
- 会員の種類
- ① 普通会員 (正会員)
 - 個人 年額 五千円 法人 年額 一万円
 - ② 特別会員 (正会員)
 - 個人 年額 一万円 法人 年額 三万円
 - ③ 賛助会員
 - 個人 年額 千円以上
- ※明るいニュース年間購読料五百円含む